

私達自身のために〈大山街道に思いを託して〉

大山街道は、江戸時代、庶民の信仰を集めた大山阿夫利神社への参詣道路であり、広域物流の基幹道路でもあった歴史ある道です。しかし、戦後の経済成長に伴う鉄道や国道246号線の整備など、時代の変化の中で開発のなすがままに放置されてきた大山街道は、歴史的趣のあるまち並みを徐々に失ってきたばかりでなく、歩行空間も貧弱化し、生活のための基幹道路としての〈質〉を落とし、魅力に乏しい道に成り下がってしまっただのが現状です。

大山街道は鉄道（東急田園都市線）と近接並行しており、利便性が非常に高く、今後も生活の基幹道路としてあり続けるでしょう。街道の所々には、かつての趣のある界隈が微かですがまだ残されています。今何らかの手をうつことが、この歴史ある街道とそれに面した地域の価値を保ち続けるために必要です。

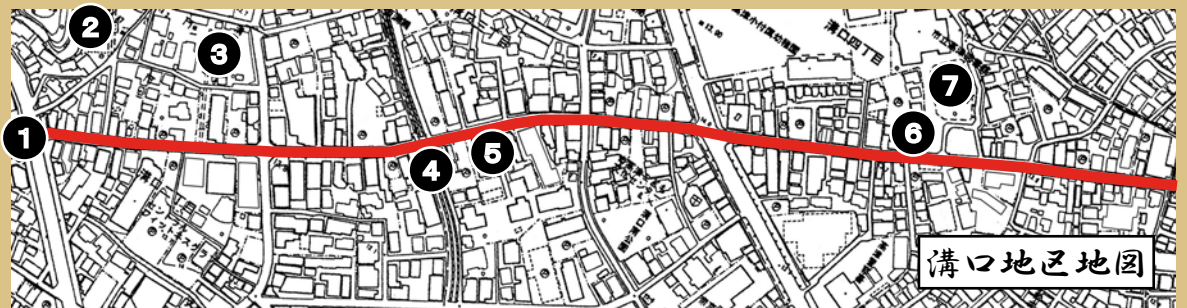
この街道を数十年以上という長い時をかけてでも、安全でやすらぎのある質の高い街道に仕向けていくことが重要です。そのためにこの大山街道の沿道地域を都市景観条例に基づく都市景観形成地区に指定し、今後の開発や何らかの工事の際に留意していただく事項についての、いわゆる〈手引書〉を制定致しました。

街道づくりやまちづくりは基本的には「人づくり」だと言えないでしょうか？地域の人達の心がまとまっていれば条例はそもそも不要です。この〈手引書〉は最低限のことを記したガイドラインであり、地域の人づくりを補うものです。従えばよいというのではなく、より良くするための規範の第一歩とし、時の流れにあわせて内容も進化させていく。そのような利用がなされることを期待しております。

最近、新聞などでしばしば「コモン」という言葉を見かけます。辞書によると「一人以上の人に所属・分け与える・使われる」ということで、共通・共同・共有・公衆・公共などと訳され、里山の様な共有の土地のことも「コモン」とよびます。地域の中でより多くの人がこの「コモン」の心をもつようになれば、長い時間をかけてでも、安全でゆとりのある素晴らしいまちが実現し、街道や地域の〈質〉や〈価値〉が向上するだけでなく、街道の利用者や後の世代からも感謝されることになるでしょう。まちづくりはすなわち、私達自身のためでもあるのです。

大山街道景観形成協議会

大山街道 景観資源



① 栄橋親柱石



② 宗隆寺



③ 溝口神社



④ 二ヶ領用水と桜



⑤ 岩崎酒店と蔵



大山街道

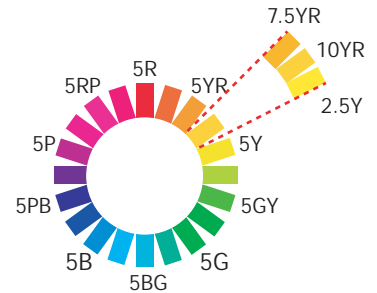
建築物色彩ガイド

●色相の範囲

7.5YR~2.5Y

あたたかみのある
YR(イエローレッド)
からY(イエロー)の
範囲

※無彩色も使用する
ことができます。



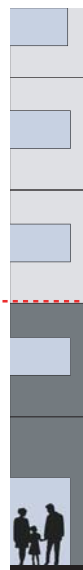
●明度・彩度の範囲

中高層部

(低層部に含まれないもの)
色相7.5YR~2.5Y
明度6.0以上
彩度3.0以下

低層部

(2階以下かつ高さ10m以下)
色相7.5YR~2.5Y
明度4.0以上
彩度3.0以下



●推奨色の例

低層部・中高層部の推奨色



低層部だけの推奨色



●非推奨色の例

明度4以下の暗い色



彩度3以上の鮮やかな色



色相7.5YR~2.5Y以外の色



※印刷のため実際の色と異なる場合があります。

大山街道 景観資源



⑥葺造りの店



⑦溝口緑地と文学碑



⑧光明寺



⑨大山灯笼



⑩二子神社



⑪岡本かの子文学碑

